

2024年10月21日
株式会社LEO 代表取締役CEO
栗生 万琴

2024年度第2回革新事業創造戦略会議 意見

議題2：革新事業創造戦略のフォローアップについて

行政からの支援を受ける側にある「スタートアップの視点・立場」及び自身の経験を踏まえ、意見を述べます。

<方向性（案）②について>

首長のリーダーシップ

- リーダーシップのある首長をピックアップし、よりフィーチャーしたほうがよいのではないか。
- スタートアップは、首長がテクノロジーやスマートシティといった領域に、どのようなリーダーシップ・本気度を発揮しているかに加え、市場規模（人口1万人以上が理想）やロケーション、実証後の展開可能性を判断基準とし、連携先を検討する。
- また、市町村の職員側からスタートアップに近づいていけるような仕掛けが必要である。

<方向性（案）③について>

支援期間

- 1年で出口に到達することは難しく、2～3年継続して支援できるような仕組みが必要ではないか。
- 例えば、NEDOによるディープテック支援事業では複数年の事業期間が確保されており、事業の出口戦略を描くことができる。

規制緩和

- 財政的支援が難しいのであれば、特区のように県内に規制緩和エリアを設ける等、その他の方法でバリューが出せるとよい。